

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	桐朋学園大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
音楽学部	音楽学科	夜・通信	467			467	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/curriculum.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

- ・ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	桐朋学園大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.toho-gakuen.com/pdf/h30houkoku.pdf> 7ページ参照

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	東京都特別区教育委員	2019.4.1～ 2022.3.31	法人運営のチェック他
非常勤	他大学教授	2019.4.1～ 2022.3.31	教学関係のチェック他
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	桐朋学園大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスについて、授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画等、作成指針を示し、作成している。毎年3月下旬には、webに公表し、学生に周知している。</p> <p>(シラバス・年間授業計画の概要) 「授業内容」(授業科目シラバス一覧) 「履修案内」(刊行物)</p>	
授業計画書の公表方法	http://portal.tohomusic.ac.jp/Syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位認定にかかわる試験(レポート・卒業演奏・卒業論文等を含む)を公正に実施するために必要な事項を定め明示している。 教員が担当科目についてシラバスに示している当該科目の「学生の到達目標」を受けて設定された「成績評価の基準・方法」に多面的な評価を取り入れて、厳格な成績評価を行っている。実技試験においては、複数の教員による採点を行う等、専攻ごとに定めた基準に従って評価し公平性を保っている。 評価後に「成績疑義申立期間」を設定し、授業担当教員や教務課へ成績評価の妥当性について異議を申し立てることができるよう、相互の成績確認が図れる仕組みが整備されている。申し立ての方法は履修案内への記載により学生に周知している。 教務委員会、主任会議での検討を経て教授会で決定した「学修成果の点検・評価の指針(アセスメント・ポリシー)」により以下の点検実施を行っている。</p> <p>① <学生の履修状況の把握>前期と後期の初めに教務委員会で確認し、必要に応じて個別面談等を行う。</p> <p>② <授業アンケートの実施>を通して、授業改善を行う。</p> <p>③ 毎年4月に<年度ごとの目標等>を学生が履修登録票に記載し提出する。2年生以上の学生は前年度の成績票等を参考に<1年間の学習の振り返り>を行い、それぞれ教務委員会等で確認する。</p> <p>④ 年度初めの<無記名アンケート等>を通して学校への要望等を把握し、主任会議、教務委員会等で検討改善を行う。</p> <p>⑤ 専攻実技に関しては、実技教員が<レッスン時に一人一人の成果を把握>を行う。また、実技試験等のコメントを学生へフィードバックし、ステップアップの助けとする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については、「A、B、C、D (失格を含む) の4段階で評価し、C以上は合格という。また、GPAを採用することにより、学生本人による履修計画の点検と成績不振者への指導を行うこととしている。GPとしては、「Aは4、Bは3、Cは2、D (失格を含む) は0」として、履修した科目の単位数にGPを乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均値を算出する。計算結果は小数点以下第2位を四捨五入して表記することとしている。</p> <p>算出式</p> $\frac{4 \times A \text{の修得単位数} + 3 \times B \text{の修得単位数} + 2 \times C \text{の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (Dの単位数を含む)}}$ <p>GPAは年度毎に算出した(年度GPA)、入学時から通算したもの(累積GPA)を算出することとしている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/curriculum.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【ディプロマ・ポリシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深く専門教育を究めると同時に幅広い教養教育を修得、自由で豊かな感性を持つ個性ある学生 ・現代の音楽社会のさまざまな課題に対処し解決する能力を身につけ社会に貢献できる学生 ・演劇や創作、作品理解などについて卓越した能力を基礎に、専門の枠を超えて新しい音楽文化を創造できる学生 <p>【卒業要件】</p> <p>原則、4年以上在学し、語学科目、一般教養科目、専門科目毎に定められた単位以上を修得し、合計124単位以上を取得すること。</p> <p>【卒業判定の手順】</p> <p>学生個人毎の取得単位を基に教授会にて判定を行う。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>学校案内</p> <p>https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/curriculum.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	桐朋学園大学
設置者名	学校法人 桐朋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://toho-gakuen.com/pdf/h30houkoku.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://toho-gakuen.com/pdf/h30houkoku.pdf
財産目録	http://toho-gakuen.com/pdf/h30houkoku.pdf
事業報告書	http://toho-gakuen.com/pdf/h30houkoku.pdf
監事による監査報告(書)	http://toho-gakuen.com/pdf/h30houkoku.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tohomic.ac.jp/college/profile/files/2018_jikotenken.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 音楽学部
教育研究上の目的 (公表方法: 学校案内 https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/curriculum.html)
(概要) 「学生がより深く専門性を極めるとともに、多面的な音楽教養を育む」ことを教育目的とし、専攻科目とその他の授業科目との関連を重視している。専攻教育の拡充のために、一定のオーディションを経て「副専攻」の履修も可能としている。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 学校案内 https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/curriculum.html)
(概要) 【ディプロマ・ポリシー】 ・深く専門教育を究めると同時に幅広い教養教育を修得、自由で豊かな感性を持つ個性ある学生 ・現代の音楽社会のさまざまな課題に対処し解決する能力を身につけ社会に貢献できる学生 ・演劇や創作、作品理解などについて卓越した能力を基礎に、専門の枠を超えて新しい音楽文化を創造できる学生 【卒業要件】 原則、4年以上在学し、語学科目、一般教養科目、専門科目毎に定められた単位以上を修得し、合計124単位以上を取得すること。 【卒業判定の手順】 学生個人毎の取得単位を基に教授会にて判定を行う。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 学校案内 https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/curriculum.html)
(概要) 建学の精神に則り、専門教育と同時に幅広い教養教育(リベラル・アーツ)を行っている。音楽という専門の枠を超えて、広く人間や社会に対する幅広い知見と、探究心と克己心を身につけた学生に卒業資格を与えるというディプロマ・ポリシーに基づいている。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 学校案内 https://www.tohomusic.ac.jp/college/admissions/boshuyoko/index.html)
(概要) 【アドミッション・ポリシー】 音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者 音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者 音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/johokokai.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
音楽学部	—	38人	11人	2人	人	人	51人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計	
人			274人			274人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.tohomusic.ac.jp/college/faculty/index.html					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
音楽学部	180人	159人	88.3%	720人	682人	94.7%	0人	0人
合計	180人	159人	88.3%	720人	682人	94.7%	0人	0人
(備考)								

b.卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
音楽学部	180人 (100%)	39人 (21.7%)	45人 (25.0%)	96人 (53.3%)
合計	180人 (100%)	39人 (21.7%)	45人 (25.0%)	96人 (53.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 桐朋学園大学大学院、海外の音楽院等				
(備考)				

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシーで定めた目標を達成するために、以下の方針で教育課程の編成がなされている。</p> <p>【教育課程に関する方針（カリキュラム・ポリシー）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科目とその他の授業科目との関連を重視し、それぞれの授業が専攻科目を中心に同心円の関係で取り囲むような授業を実現する。 ・授業は、専攻科目、音楽基礎科目、音楽応用科目、語学・教養科目の四群に分かれる。 ・専攻科目の拡充のために、一定のオーディションを経て「副専攻」を履修することができる。 <p>各授業科目の内容、履修方法、授業計画等については「授業内容」（シラバス）にて示している。授業時間は1時限を90分とし年間30回を基本（半期15回）としている。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>4年以上（早期卒業の場合は3年以上）在籍し、以下に定める所定の単位を修得したときに卒業資格が得られる。本学を卒業したものに、学士（音楽）の学位が授与される。</p> <p>語学科目10単位、一般教養科目16単位、専門科目（専攻科目、音楽基礎科目、音楽応用科目）76単位、選択科目※22単位、総計124単位以上。</p> <p>※「選択科目」は、必修単位以上に履修した科目を指し、語学科目・一般教養科目・専門科目・教職科目（教職課程履修者のみ・科目の指定あり）のすべての科目から自由に選択することができる。</p>																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学部名</th> <th>学科名</th> <th>卒業に必要となる 単位数</th> <th>GPA制度の採用 (任意記載事項)</th> <th>履修単位の登録上限 (任意記載事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">音楽学部</td> <td>音楽学科</td> <td>124単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位</td> <td>有・無</td> <td>単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPAの活用状況（任意記載事項） 公表方法：</p> <p>学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項) 公表方法：</p>	学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	音楽学部	音楽学科	124単位	有・無	単位		単位	有・無	単位			単位	有・無	単位			単位	有・無	単位
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)																				
音楽学部	音楽学科	124単位	有・無	単位																				
		単位	有・無	単位																				
		単位	有・無	単位																				
		単位	有・無	単位																				

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.tohomusic.ac.jp/college/profile/shisetsu.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
音楽学部	音楽学科	1,360,000円	600,000円	640,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a.学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>前期・後期の開始時に実施される<履修指導・相談>により、一人一人の学生に応じたきめ細かなサポートを可能としている。</p> <p>学費の点で進学困難となる学生、入学後に家庭の事情で大学生活の継続が困難となる学生に対して<奨学金制度>を用意しているほか、日本学生支援機構など公的奨学金制度を周知活用呼びかけを行い、学生生活への支援を行っている。また、在学生ならびに入学生を対象とした<特待生制度>を用意し、より一層学生の修学への支援体制が充実されている。奨学金に関して、その利用等の指導に係る教員および学生相談室員、学生支援課員を配置し、生活上の相談も含めて修学に関する相談に対応している。</p> <p>日常的にオフィスアワーが実施されており、気軽に教員への相談が可能であり、専門実技においては、マンツーマンレッスンにより上記と同様に対応している。</p>
<p>b.進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p><キャリアサポート></p> <p>ライフキャリア開発・構築のベシック・サポートの相談ならびに、Musician's Career(職業音楽家に必要な知識・スキルを身に付ける講演会やワークショップ、アウトリーチ)、音楽インターンシップ、企業による就職説明会、本学卒業生との交流会等を開催しているほか、一般企業就職、海外留学・コンクール・講習会等の各種情報を提供している。</p>
<p>c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p><桐朋学園音楽部門アクセシビリティ支援></p> <p>障がい・病気・その他の理由によって修学に困難があり、所定の手続きを経て配慮の必要が認められた在学生は、本学において可能な限り障壁を取り除く「アクセシビリティ支援」を受けることが可能。希望者は相談窓口である「学生相談室」に申し出て、教授会等で確認される。視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、精神障害、慢性疾患、難病等や性別違和ほか、修学及び研究上の困難を抱える在学生在が支援対象となり、入学前の段階にて全員に支援の必要有無を確認している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.tohmusic.ac.jp/college/profile/johokokai.html>